

果樹・茶用殺虫剤

ガムコイル[®]フロアブル10

powered by

RYNAXYPYR[®]
 ACTIVE INGREDIENT

ハマキムシ類の成虫にも有効、 産卵数を大幅に減少

【静岡県茶業研究センターで実施した感受性系統を供試した室内試験結果に基づく】

- **ハマキムシ類防除の欠かせない1剤として**
ジアミド系殺虫成分リナキシピル[®]を含有。ハマキムシ類に効果が高く、その効果は比較的長く持続します。幼虫はもちろん成虫に対しても有効な優れた殺虫剤です。
- **成虫にも有効。次世代の幼虫密度を低減**
チャノココクモンハマキ、チャハマキの成虫にも有効。産卵数(卵塊数)が大幅に減少し、次世代幼虫の密度低減に大きく貢献します。(感受性系統)
- **自然の生態系や天敵に対する影響が少ない**
生態系を維持し、天敵の力を損なうことなく害虫防除を行うことができます。
- **海外輸出茶にも使用できます**
海外での基準値設定により、アメリカ、台湾に輸出する茶の防除にも使えます。

茶・静岡版

サムコル[®]フロアブル10 早めの散布でハマキムシ類の被害を低減！

■チャノココクモンハマキ成虫および産卵に対する影響

平成24年 静岡県茶業研究センター

供試薬剤	成虫の生存に対する影響						成虫の産卵に対する影響				
	性別	調査頭数 n	生存虫率(%)				調査頭数 n	平均卵塊数/雌1頭			
			1日後	3日後	7日後	10日後		1日後	3日後	7日後	10日後
サムコルフロアブル10 2000倍希釈	♂	32	97	69	22	0	32	0	0.4	0.4	0.4
	♀	32	97	44	25	0					
対照Aフロアブル 2000倍希釈	♂	32	97	91	69	19	32	0	1.9	4.8	5.2
	♀	32	100	100	69	6					
無処理	♂	32	100	97	88	66	32	0	1.8	5.4	6.0
	♀	32	100	100	84	9					

室内試験：感受性系統を供試。

プラスチックカップを用いたドライフィルム法と葉片浸漬法を組み合わせる試験。薬液を処理した試験容器を用意し、個体飼育した成虫を雌雄2頭ずつ1カップ中に放虫した後、25℃16L8Dの恒温室に静置した。処理1、3、7、10日後に成虫の生死と産卵された卵塊数を調査した。

■チャハマキ成虫および産卵に対する影響

平成25年 静岡県茶業研究センター

供試薬剤	成虫の生存に対する影響						成虫の産卵に対する影響				
	性別	調査頭数 n	生存虫率(%)				調査頭数 n	平均卵塊数/雌1頭			
			1日後	3日後	7日後	10日後		1日後	3日後	7日後	10日後
サムコルフロアブル10 2000倍希釈	♂	20	100	5	0	0	20	0	0.2	0.2	0.2
	♀	20	100	0	0	0					
対照Aフロアブル 2000倍希釈	♂	20	100	95	55	0	20	0	0.9	1.5	1.7
	♀	20	100	80	70	25					
無処理	♂	20	100	100	70	30	20	0	0.7	4.6	5.1
	♀	20	100	100	80	10					

室内試験：感受性系統を供試。

プラスチックカップを用いたドライフィルム法と葉片浸漬法を組み合わせる試験。薬液を処理した試験容器を用意し、個体飼育した成虫を雌雄2頭ずつ1カップ中に放虫した後、25℃16L8Dの恒温室に静置した。処理1、3、7、10日後に成虫の生死と産卵された卵塊数を調査した。

上手な使い方

チャノココクモンハマキ、
チャハマキ防除

サムコル[®]フロアブル10は早めの散布が有効です。

1. 防除規制解除後に使用する場合…防除規制解除後ただちに散布してください。
2. 防除規制がない場合…発蛾最盛前後が散布適期です。発蛾の増加が顕著になったら散布して構いません。

■適用害虫と使用方法(茶のみ抜粋)

2018年10月現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロロールを含む農薬の総使用回数
茶	チャノココクモンハマキ チャハマキ ヨモギエダシヤク	2000倍	200~400ℓ/10a	摘採3日前まで	1回	散布	1回
	チャノホソガ	2000~4000倍					
	ハスモンヨトウ	4000倍					

■上記以外の登録作物：りんご、ぶどう、おうとう、なし、もも、ネクタリン、かき、うめ、すもも、あんず、さとうきび

△効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせる使用してください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

販売：アグロ カネショウ株式会社 / 北興化学工業株式会社 / 丸和バイオケミカル株式会社 / 三井化学アグロ株式会社(五十音順)

製造：エフエムシー・ケミカルズ株式会社 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビル8F www.fmc-japan.com



CO1M1810